

極真通信



国際空手道連盟

極真会館北海道支部

毎週火曜日10時半から脂肪燃焼コース開始！！
道場生の保護者の方は1回500円で参加できます。

平成23年3月発行



第6回全日本ジュニア空手道選手権大会



去る3月6日兵庫県姫路市立総合スポーツ会館にて、第6回全日本ジュニア空手道選手権大会があり、高橋涼太くん・大山雄大くん・渡辺真央くんの3人が出場しました。

今大会は430人を超える大規模な大会で、真央くんは最も出場者の多い34人の2年男子軽量級の部で優勝、雄大くんは3年男子重量級の部で30人中3位、涼太くんは入賞経験者のみの中学男子チャンピオンクラスの部で16人中3位という好成績でした。

大会に出場したことがあれば、あの緊張感と高揚感がわかるとと思います。ましてや、3人は北海道を離れて初めての土地での大健闘！

誰だって100%で稽古に励んでいても、大会では空気のにまれてなかなか自分本来の全力が出せないものです。だからこそ、普段の稽古がより重要になってきます。おふざけや遊びで稽古をしていたら、強くなることも帯が昇級することもあります。小さくても目標を持って、心・技・体を大きく強くし、3人に続いてほしいと思います。涼太くん、雄大くん、真央くん、本当におめでとう！（^-^）

3月21日(祝月)

祝日の為2時間繰り上がり

3月27日(日)

第6回南北海道武道選手権大会～心～
室蘭市体育館（室蘭市宮の森町4丁目1-43）

4月10日(日)

道央地区昇級審査 4F第二道場 10時～

4月16日(土)

第7回POINT&K.O. 全日本少年少女空手道選手権大会
国立代々木競技場 第二体育館

“絆”という言葉

南北海道大会を控えて稽古に励む人、4月の昇級審査を目標に稽古に励む人…いろんな目標を持って稽古に取り組む姿勢が見られます。今回は、稽古の中で時々でも意識してほしい“絆”の語源について書きたいと思います。

“絆”とは本来、犬や馬などの動物を繋いでおく綱のこと。動物が離れないように繋ぎとめる綱の意味から、人と人を離れがたくしている結びつきを言うようになったそうです。「断つことのできない人との結びつき」という意味です。

先日、東北関東地方で大きな地震が発生し多くの方が被害に遭われました。家族や友達がすぐ傍に居ることがあたり前ですが、そのあたり前のことがかけがえのないものです。

このような機会だからこそという語弊がありますが、沢山の人と繋がって支えあっていることを認識しなおしてみてください。そして空手ができることに感謝して日々の稽古に励んで下

☆今月の頑張ってる賞☆

三坂ひなたちゃん

5歳 無級



目標 「組手を頑張りたい！」
ライバル「しおねちゃん（*^*）」（ありがとう！^^）

あいの里支部で唯一の女の子！男の子達に負けないうくらい大きい声も出せるようになりました（^-^）稽古を重ねるごとに道場訓も増えているひなたちゃん！この調子で型も完璧にして、オレンジ帯の仲間入りをして下さい！

指導員のつぶやき



指導員T～三年ぶりに神戸に行ってきました。400名以上の大規模な大会で、北海道代表選手3人は堂々とした見事な戦い振り、久しぶりに感動いたしました。来月のPOINT&K.O.も極真会館北海道旋風を巻き起こしに行きますよ！

指導員Y～来月から新しい生活が始まる予定です。楽しみであり不安でもあります、頑張りたいと思います。

指導員S～平成23年3月号から制作担当になっちゃいました(笑)頑張ってるので、ちゃんと読んでくださいーい（^-^）